

# 仲良く、協力しよう

小学校3年生

## I アクティビティについて

### ねらい

縦割り集団活動を通して、児童相互の思いやりの気持ちを育てるとともに、班で協力する楽しさを感じさせることで、集団生活に責任をもって主体的に参加しようとする態度を育てる。

### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎参加・参画
- 共感と連帯感
- 権利と責任

### 設定の理由

地域における人間関係が希薄になり、子どもたちが異年齢集団の中で遊んだり、交流したりする機会も減って、同年齢層の中での上下関係が固定化され、いじめの要因になるケースも見られる。

そこで、異年齢集団が協同参加する「全校遠足」を企画し、目標設定、具体的計画立案、実施等に積極的に参加させることを通して、他者をいたわる気持ち、他者への尊敬や信頼感を促進し、参加・参画に係る知識、態度、技能を育てたい。

### アクティビティの概要 (8時間扱い)

活動1 「やれる」「できる」「がんばる」の3つの目標を話し合う。2時間

- ・全校遠足の学級の目標を話し合いで考える。
- ・「やれる」「できる」「がんばる」の3つの目標を考える。
- ・縦割りグループ会議をする。
- ・縦割りグループで遊びの内容を考える。



活動2 「全校遠足」の実施 6時間



活動3 「ふり返り」の実施 1時間

- ・全校遠足をふり返る。

## アクティビティーの実際

- 準備するもの
  - ・ケーススタディカード
  - ・ふり返しシート
- アクティビティーの進め方

### 活動1 「やれる」「できる」「がんばる」の3つの目標

- ① 全校遠足について、「やれる」「できる」「がんばる」の3つの目標を考えさせる。
  - ・楽しい全校遠足にするための学級目標として、「やれる」目標と「できる」目標をそれぞれ考える。
  - ・全校遠足での「がんばる」個人目標を1つ考える。
  - ・目標を達成するという意識を持たせて、全校遠足に参加する。
- ② 縦割りグループ会議で遊びの内容を考えさせる。
  - ・自己紹介をする。
  - ・縦割りグループでの遊びの内容を考える。

### 活動2 「全校遠足」の実施

- ① 全校遠足へ目標を達成するという意識を持って参加する。

### 活動3 「ふり返し」の実施

- ① 全校遠足のふり返しをする。
  - ・全校遠足をふり返し、「やれる」目標と「できる」目標が達成できたか考える。

発問例 全校遠足で立てた「やれる」目標と「できる」目標は、達成できましたか。

- ・班ごとに話し合わせる。

- ② 全校遠足を通して、「がんばる」目標が達成できたか考える。

発問例 全校遠足で個人目標として立てた「がんばる」目標は、達成できましたか。

- ③ 全校遠足を通して、感想や気づいたことを話し合う。

## アクティビティーを指導するポイント

- ◇ 簡単に「やれること」、少し努力すれば「できること」、「がんばれば」実現できることの3段階で、これからの行動計画を立てさせるようにする。
- ◇ 「やれること」は、お互い励まし合い、「できること」は協力し、「がんばる」については、それぞれアイデアを出し合って、共に考え、共に行動する姿勢が大事であることを確認する。
- ◇ 本アクティビティーは、他の縦割り活動でも活用することができる。
- ◇ 小学校3年生では、やや難しいところもあるが、教師の支援で例を示すことにより、ねらいを達成できると考える。

## Ⅱ 授業展開例

～小学校3学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
	1 全校遠足の目標を話し合う。 ・学級の目標、自分の目標	○全校遠足に参加するにあたり、楽しい遠足にするために、「やれる」「できる」学級目標を考え、話し合わせる。
	2 全校遠足で起こりそうな場面を考え、対処の仕方考える。	○全校遠足で起こりそうな場面を設定する。 ○児童の自由なアイデアを尊重する。
2	3「がんばる」個人目標を考える。	○「がんばる」個人目標を考えさせる。
	4 縦割りグループ会議に参加する。 ・自己紹介をする	○自分の名前や得意なことをグループのメンバーに紹介させる。
	5 縦割りグループの目標や活動の内容等を話し合う ・グループの目標 ・遊ぶ内容 ・グループの旗づくり。	○低学年の児童のことも考えて、自由にアイデアを出させる。
6	1 全校遠足を実施する。	○目標を自覚させ、全校遠足に参加させる。
1	2 全校遠足のふり返しをする。	○ふり返しカードに記入させる。 ○「やれる」学級目標と「できる」学級目標が達成できたか考えさせる。 ○「がんばる」学級目標が達成できたか考えさせる。

